

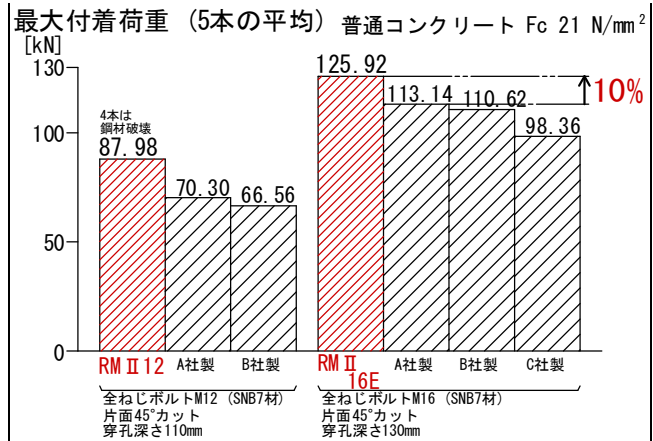


フィッシャー レジンアンカー **RM II**
 接着系カプセル型 (回転打撃式)



母材 : ● 普通コンクリート
 ● 緻密な自然石

● 上表の付着試験結果から RM II 16E の付着強度 $\tau_a = 19.2 \text{ N/mm}^2$ 。設計等におきましては、付着強度 $\tau_a = 10 \text{ N/mm}^2$ をご検討ください。



※ 同一のコンクリート母材で同じ施工方法における社内比較試験による。

特長

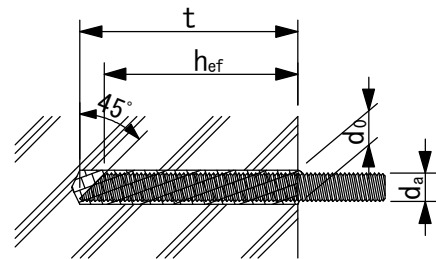
- ビニルエステル樹脂
- スチレンフリー (スチレン臭が無い)
- VOC 14 化学物質 (ホルムアルデヒド等) は未含有
- 有効期限は製造日より3年 (36ヶ月)
- 高い付着荷重 (10%以上の付着荷重) ... 万が一適切な孔内清掃がなされていない場合でも他社製と比較してバラツキがない安定的な基準付着荷重が得られます。(社内比較試験により、孔内清掃した場合と比較すると荷重は低減します)
- 耐火性 欧州耐火クラス R120
- 早い硬化 (コンクリート母材温度 21°Cにおいて硬化時間 5分)
- ガラスカプセル
- ドイツ製 (フィッシャーにて生産)
- 水中施工が可能
- 早い硬化 (コンクリート母材温度 21°Cにおいて硬化時間 5分)
- 欧州技術評価 ETA-16/0340



カプセルタイプ

RM II 12		カプセル		
RM II タイプ	品番	外径 [mm]	長さ [mm]	容量 [ml]
RM II 8	539796	9.0	85	3.8
RM II 10	539797	10.5	90	5.8
RM II 12	539798	12.5	97	9.9
RM II 16E	539804	16.5	123	22.0
RM II 20/22	539802	23.0	160	52.0
RM II 24	539803	23.0	190	64.0

※ 小箱入り数: RM II 8, 10, 12, 16E, 20/22 = 10 本/小箱
 RM II 24 = 5 本/小箱



※ 埋込み先端を片面 45° カットのの場合

※ d_a : 接着系アンカーボルトの径

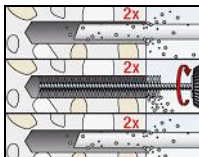
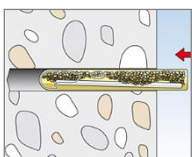
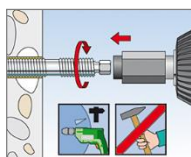
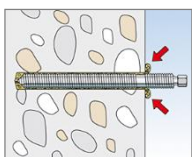
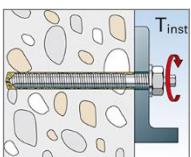
※ 納期等は事前にご確認願います。

施工仕様

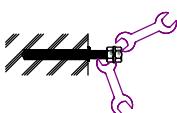
RM II タイプ	全ねじボルト	ドリル径 d_0 [mm]	穿孔深さ t [mm]	有効埋込み深さ ¹⁾ h_{ef} [mm]
RM II 8	M8 ($T_{inst} =$ 最大 10 N·m)	10	80 (10.0 d_a)	72 (9.0 d_a)
RM II 10	M10 ($T_{inst} =$ 最大 20 N·m)	12	90 (9.0 d_a)	80 (8.0 d_a)
RM II 12	M12 ($T_{inst} =$ 最大 40 N·m)	14	110 (9.1 d_a)	98 (8.1 d_a)
RM II 16E	M16 ($T_{inst} =$ 最大 60 N·m)	18	130 (8.1 d_a)	114 (7.1 d_a)
RM II 20/22	M20 ($T_{inst} =$ 最大 120 N·m)	25	170 (8.5 d_a)	150 (7.5 d_a)
RM II 20/22	M22 ($T_{inst} =$ 最大 120 N·m)	25	190 (8.6 d_a)	168 (7.6 d_a)
RM II 24	M24 ($T_{inst} =$ 最大 150 N·m)	28	210 (8.7 d_a)	186 (7.7 d_a)

¹⁾ 上表内の有効埋込み深さ h_{ef} は片面 45° カットのの場合。 ※ T_{inst} は 最大締付けトルク。

施工方法

<p>①</p>  <p>ハンマードリルで規定の穿孔後、孔内を清掃。 ※ 専用ワイヤブラシを使用。 ※ ダイヤモンドコアによる穿孔も可能。(孔内清掃は別途の施工要領書を参照) ※ 集塵ドリルによる穿孔も可能。</p>	<p>②</p>  <p>規定のガラスカプセルを挿入。 ※ 孔内へ挿入時はガラスカプセルが割れないよう留意。 ※ アンカーボルト表面から油脂等の汚れは拭き取ってください。</p>	<p>③</p>  <p>回転打撃作動でアンカーを施工。 ※ 打撃作動のみ及び打込みの施工は不可。 ※ アンカー施工前にアンカーボルトへ埋込み深さをマーキング。</p>	<p>④</p>  <p>規定の埋込み深さまで施工。 ※ 過剰に攪拌をしない。 ※ 硬化前に余剰樹脂を除去。</p>	<p>⑤</p>  <p>硬化時間が過ぎたら取付物を取付ける。 ※ 硬化中はアンカーボルトに触らない。</p>
---	--	---	--	--


※ ダブルナットで施工した場合、硬化時間後、ダブルレンチ等でナットを外してください。下部ナットをレンチ等で必ず抑えて、上部ナットを外してください。



硬化時間

(カプセル温度 最小 -15°C)	
コンクリート母材温度	硬化時間
31 ~ 40 °C	3 分
21 ~ 30 °C	5 分
11 ~ 20 °C	20 分
6 ~ 10 °C	30 分
1 ~ 5 °C	45 分
-4 ~ ±0 °C	10 時間
-9 ~ -5 °C	16 時間
-15 ~ -10 °C	30 時間

- ※ コンクリートが乾孔、湿孔、水中施工における硬化時間。
- ※ 有効期限以内のカプセルを使用。
- ※ 樹脂の流動性がないものは使用しない。
- フィッシャー RG MI 内ねじタイプの施工も可能。



RG MI


付着荷重

ひび割れ無し 普通コンクリート $F_c 20 \text{ N/mm}^2$

アンカー距離、ヘリあき距離等の影響が無いアンカー単体の場合

RM II タイプ	全ねじボルト	最大付着荷重 [kN (tf)]	最大せん断荷重 [kN (tf)]
RM II 8	M8	42.4 (4.32)	15.7 (1.60)
RM II 10	M10	65.1 (6.64)	24.9 (2.54)
RM II 12	M12	90.3 (9.21)	36.2 (3.69)
RM II 16E	M16	148.0 (15.10)	67.5 (6.88)
RM II 20/22	M20	259.8 (26.51)	105.4 (10.75)
RM II 20/22	M22	270.2 (27.57)	130.3 (13.29)
RM II 24	M24	283.6 (28.93)	151.5 (15.45)

備考)

1. 最大付着荷重は高強度ボルト(強度区分 12.9 : M8, M10, M12, M16, M20, M24)(強度区分 10.9 : M22)先端Vカットを使用した試験結果の平均値。
Vカット 
2. 最大せん断荷重はSNB 7材のボルト先端片面 45°カットを使用した鋼材破壊による算定値。
3. ハンマードリルによる穿孔の場合。
4. 安全係数をご考慮ください。
5. 施工要領書、安全データシート(SDS)も準備しています。ご使用前に必ず読んでください。

※ 製品改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。 無断複写・転載禁止